

学生で八王子の銭湯を活性化 ～銭湯の営業時間前をレンタルスペースに～

” Sento ” is your Rental Studio
～To Expand Student Customers for the “Sento” in Hachioji～

えすでいーじー湯

佐藤広宣¹⁾, 熱田璃子¹⁾ 大塚恵¹⁾ 谷口貴彦¹⁾ 橋本直道¹⁾

指導教員 勘坂純市¹⁾, 研究協力者 松の湯店主 小嶋宏和²⁾ 創価大学ヴォーカルグループ³⁾

1)創価大学経済学部経済学科勘坂ゼミ 2)松の湯 3)創価大学

キーワード：銭湯, 学生, 歴史, 地域活性, 予算提言

1. 緒言

私たちは、今ある銭湯文化を継承しながら、銭湯の付加価値を高め、若年層の銭湯利用者数を増加させるために、開店時間前の銭湯をレンタルスペースとして活用することを提案する。私たちは、両親に連れられて銭湯に行った楽しい経験がある。しかし、こうした経験は今後なくなるかもしれない。そこで、私たちが銭湯の温もりを伝え、日本の伝統文化の一つである「銭湯」を守り抜きたいとの思いから研究が始まった。

2. 現状分析・課題

厚生労働省(1948)によると、公衆浴場は「一般公衆浴場」と「その他の公衆浴場」の二つに分類されている。銭湯は「一般公衆浴場」であり、保健衛生上必要なものとして、利用料金が地域ごとに均一にされている。しかし近年、東京都内の銭湯が減少している。東京都(2023)によると、東京都内の銭湯の軒数は約15年で879件から462件と半減している。また、八王子市の銭湯の数は25軒から2軒へと大きく減少している(厚生労働省2016)。私たちの調査(7月10日)でも、八王子の銭湯「松の湯」の店長は、銭湯に来る学生が減少し、昔に比べて学生と気軽に就活や文化祭の話等をする機会が減ってしまったと仰っていた。そこで、私たちは学生の利用者を増やし、八王子の銭湯を活性化させる独自の解決策を考察する。

3. 解決策

解決策として、現行の八王子福祉部福祉生活課が実施するプレミアム入浴券(銭湯利用をSNS投稿と引き換えに1回100円の割引が貰える)の代わりに、営業時間前の銭湯を八王子の大学のクラブ団体にレンタルしてもらうことを提案する。学生団体のメリットは、無料で貸し切りの銭湯という非日常的なスペースの利用が可能である。また、銭湯側のメリットとして、開店時間前を有効活用できると同時に、学生の認知向上による、新たな利用者の増加を見込むことができる。また、銭湯側はSNSでのPRを学生のクラブ団体へ任せることで銭湯側のSNSの広報経費も減る。さらに、利用した様子をSNSで発信し、双方のPRにも繋げることができる。尚、銭湯側のレンタルにかかる経費の負担については、八王子福祉生活課が実施するプレミアム入浴券の予算の編成を提案したい。

この解決策を提案する理由は、以下の3点である。1点目にレンタルスペースとしての付加価値の創出は、競合他社が少なく、導入費用が少ない。現在は、家庭内浴室の普及により、入浴を目的とした利用者が減少した。そのため、入浴後に寛ぐことができる設備を備えたスーパー銭湯や、入浴の付加価値を向上させた温泉などが増加している。つまり、入浴施設としての付加価値向上は、同様の戦略を実施する競合他社が多く、また、設備投資には多大な資金を必要としリスクが大きい。一方、この解決策は改修工事の費用よりコストを

抑えることができる。2 点目に、営業時間前に実施することにより、現在の銭湯の文化を変えることなく、付加価値向上が可能である。私たちの理念は、銭湯の文化継承であり、利用者増加のための銭湯文化改革ではない。その点、私たちの解決策は、営業時間前にサービスを展開するため、銭湯の形を残し、銭湯文化継承が可能である。3 点目に、大学内のクラブ団体による SNS での動画発信は、効果的な PR に繋がるからである。なぜなら、クラブ団体の SNS のフォロワー数は個人のアカウントより多く、より多くの大学生へ銭湯の認知拡大が期待できるからである。また、銭湯内部の動画により大学生へ銭湯の本当の姿を知ることが可能になる。創価大学生 108 人に対して独自で行ったアンケート調査結果によると、およそ 2 人に 1 人が八王子の銭湯を知っていることがわかった。しかしながら、実際に銭湯へ足を運ぶ人は、多いとは言えない。銭湯の実態がわからないため、興味はあっても銭湯に行くには“勇氣”がない学生が多いのではないかと。しかし、制作した動画を見てもらったところ、ある学生は「銭湯は知っていたが行けなかった。しかし、動画を見て、行ってみようと思った」と評した。したがって、現行のプレミアム入浴券よりも、銭湯内部を映した動画での PR は効果的であるといえる。よって、導入の容易性、銭湯文化の継承、また大学生への銭湯の認知拡大の 3 つの利点より銭湯をレンタルスペースとして活用することは有効であると考えられる。

4. 結果

私たちは、パイロットケースとして、10 月 15 日に、創価大学ヴォーカルグループに松の湯をレンタルしてもらい、動画撮影をした。その結果、松の湯の店主から、纏まった動画であり、今後も協力していきたいとの前向きな言葉を頂いた。また、ヴォーカルグループからは、今までにない経験から、今後の活動に活かすことが期待できるとの感想であった。さらに、Instagram に銭湯の PR 動画を投稿して頂いたところ、2023 年 10 月 22 日時点で約 7000 回の再生を記録した。また、作成した PV を創価



大学のクラブ団体に見てもらい、学内 5 団体から銭湯の PR 撮影に「興味あり」との回答を受けた。

5. 考察

今後導入する際は元々の銭湯経営に支障が出ないように利用規定を作成し、それに賛同した団体に利用してもらう。また、八王子市に、「市内の銭湯」を紹介する Web(<https://qr.paps.jp/KyhLU>)にこの企画を掲載し、銭湯との仲介をして頂ければ、銭湯、市民がともに恩恵を受けられるだろう。さらに、利用した団体が SNS に投稿する際は右のような広告を添付しこの活動を PR する。また、八王子コンソーシアムを通じて各大学にアピールすることも考えられる。さらに、将来はレンタル利用者を学内団体から学外団体へ拡大したい。



6. 結論

本研究では、営業時間前の銭湯をレンタルスペースとして利用して、八王子の銭湯を活性化する施策を提案した。実際に松の湯と創価大学のクラブ団体に協力していただいたパイロットケースでは、両者から高い評価をいただくことができた。また、その際撮影した PR 動画も多く視聴されており、銭湯の魅力を発信できたと考えている。今後は、私たちの住む八王子市の銭湯を盛り上げていくためにさらなる施策を考えていきたい。

参考文献

- ・厚生労働省(1948)「公衆浴場法概要」<https://qr.paps.jp/N7ux>(閲覧日:10月24日)
- ・東京都(2023)東京の公衆浴場(Welcome to 銭湯) <https://qr.paps.jp/5eJAA>(閲覧日:10月24日)
- ・八王子市(2023)「市内の銭湯」<https://qr.paps.jp/KyhLU>(閲覧日:2023年10月24日)
- ・タウンニュース(2016) <https://qr.paps.jp/uljRn>(閲覧日:10月24日)
- ・八王子市(2023)<https://onl.sc/MNqxpW>(閲覧日:10月24日)